

## 第4回 小金井市産業振興プラン策定委員会

日時：令和3年11月4日（木）

午後7時から

場所：小金井市役所本庁舎3階

第一会議室

### 次 第

1 開会

2 議題

産業振興プランにおける取組について

3 閉会

#### 【配布資料】

- ・ 会議次第
- ・ (資料1) これまでの議論のまとめ
- ・ (資料2) 産業振興プランにおける取組

# 小金井市産業振興プラン これまでの議論のまとめ

## 第5次長期総合計画で示された「産業・観光の振興」の目指す姿

多様で豊かな市民力あふれる生活都市にふさわしい産業・観光の創出・育成に継続的に取り組み、地域の付加価値を高める、ふれあいと活力のあるまち

## 取組を考える上での課題や前提

※赤い文字は委員会でのご指摘

### 第5次長期総合計画の産業・観光、農業の方向性

#### ■「産業・観光の振興」の方向性

- ①商工業の活性化
- ②創業者を中心とした市内事業者の支援・育成
- ③就労支援の充実
- ④観光の推進

#### ■「農業の振興」の方向性

- ①担い手の確保・育成と力強い農業経営の展開
- ②多面的機能をいかした農地保全
- ③持続可能な農業生産の推進
- ④小金井農業の魅力発信

### これまでの取組の成果・課題

#### ■成果

- 地域資源の活用の広がり
- 創業によるエリアブランディング
- まちづくりへの展開
- 市内プレイヤーのつながりの深化
- 中間支援組織の確立・定着
- 情報発信の充実

#### ■課題

- △工業に対する支援のあり方
- △農地の保全・経営支援のあり方
- △事業実施にあたっての助成金依存
- △市内事業者、市民の主体的参画
- △事業に対する認知
- △より効果的な情報発信のあり方
- △小金井ならではのブランド感

### 社会的な状況（の変化）

#### 【小金井市に関すること】

##### ■機会（チャンス）

- ・進学・就職の転入が多い
- ・大学が多い
- ・徒歩、自転車で移動する人が多い
- ・コロナ禍のなか地域で暮らす人が増えた
- ・地域のお祭り、イベントが多い
- ・個々の事業者はがんばっている
- ・蛇の目ミシン跡地に市役所が移転する
- ・武蔵小金井駅周辺の再開発がある

##### ■課題

- ・市外に買い物に出かける人が多い
- ・結婚、子育てを機とした転出が多い
- ・地域のお祭り、イベントが知られていない
- ・個々の事業者のつながりが十分でない
- ・街路整備が十分でない
- ・商店街の事務局機能が弱い

#### 【社会全体に関すること】

##### ■機会（チャンス）

- ・自宅で楽しむ時間が長くなっている
- ・地元観光という考え方が広がっている
- ・カード決済が普及している
- ・デリバリーが普及している
- ・副業が社会的に認知されている

##### ■課題

- ・コロナ禍で営業が厳しくなっている飲食店が少なくない

## 小金井市産業振興プランの目標（案）

### まちの活気をつくる

まちの特徴となる数多くの魅力を、事業者や市民がつくり、「見える化」し、多くの人を楽しむ

#### まちの活気に関する第2回・第3回委員会での主な意見

- まちの特徴————— ・「小金井市ってこういうところだよな」という思いから、人が集まってくる。（第2回）
- 数多くの魅力————— ・個々の能力を高めて、発揮できれば、まちの活気になると思う。色んな趣味・嗜好を持っている人がいると思うので、そういう人が顕在化するとよい。（第2回）  
・まちの活気が多様であるとは何かというと、世代だけでなく、性別、国籍、障がいの有無など、様々な人がまちにいるイメージだと思う。様々な人が活動をするまちになると、活気が生まれていくのではないか。（第3回）  
・小さな発信でもよいので、いつも何かをやっているような様子が見えるといいと思う。（第3回）  
・一人ひとりがイメージするまちの活気は異なる。（第3回）
- 事業者や市民がつくる— ・人の往来は活力に結びつくものだが、それは市民がまちを盛り上げようとするマインドがあってこそだと思う。（第2回）  
・人と人とのつながりがあれば、その人のために行動したいと思うようになると思う。そうなれば経営的に厳しい状況のときに助け合う関係性になれると思う。（第2回）
- 「見える化」————— ・多様さを見える化すれば市民に広がっていくと思う。（第3回）  
・まちのみんなが知っているイベントがあることは大事だと思う。（第3回）
- 多くの人を楽しむ————— ・市外から人を呼ぶ前に、市内に住んでいる人が買い物してもらえないと、市外から人を呼べないと思う。（第3回）

#### 工業分野に対する考え方

- ・第2回委員会にて「工業分野の立場でいうと、工業にとっての目標がまちの活気には直接結びつかない。地域を盛り上げる必要はあるが、業種としては無理があると思うので、工業は別途検討した方がよいと思う。」という意見をいただきました。
- ・目標にて「活気」という言葉を使わず、「まちの特徴となる数多くの魅力」という表現を用いているのは、工業も商業、農業とともに一体的に取り入れたいと考えたからです。
- ・本プランで目指すものは、商業的な活気にかぎらず、工業分野において生み出される製品や、そのような製品を生み出す職場なども「特徴」であり、そのような仕事が行なわれている状況も「活気がある」と考えました。

## まちの活気を生み出すもの（目標の要素）

ブランドが  
あること

暮らしていて  
楽しいこと

人と人との  
関係が  
深いこと

まちを  
盛り上げる人  
が多いこと

安心して  
出かけられる  
こと

### まちの活気のイメージに関する第2回・第3回委員会での主な意見

#### ■ブランドがあること

- ・まちの人たちが共通認識を持てば、まちが好きになり、住むようになり、買い物をするようになるのだと思う。(第2回)
- ・「小金井市ってこういうところだよ」っていう思いから、人が集まってくる。(第2回)

#### ■暮らしていて楽しいこと

- ・家族で滞在したくなるような屋内施設が駅周辺にできるとよいと思う。(第2回)

#### ■人と人との関係が深いこと

- ・まちの活気は、通りすがりに挨拶をするような、人と人の関係性が見えることだと思う。(ア第2回)
- ・顔の見える関係性があることが、地域の強さだと思う。それをベースとして、楽しい、ワクワクするといったプラスの感情を持つことができる。そうすると場所に対して好感を持つようになると思う。(第2回)
- ・商店街の人はまちのことを考えてやっている。それを知ってもらって、輪に入ってもらえるようになればいい。(第3回)

#### ■まちを盛り上げる人が多いこと

- ・あるエリアが好きで、他人を巻き込む濃い人が増える。(第2回)
- ・まちの活気をつくる立場の人をどのように増やしていくのかを考えるとよいと思う。個々の能力を高めて、発揮できれば、まちの活気になると思う。(第2回)
- ・元気な人が育っていく組織があると、だんだんとまちを元気にしていけると思う。(第3回)

#### ■安心して出かけられること

- ・赤ちゃんをベビーカーで連れて店に入りやすい設えがなされているなど、気持ちのよいまちであるといいと思う。みんなが心地よく暮らせるように努力することだと思う。(第2回)

## 小金井市産業振興プランのポイント1

まちの活気づくりの資源となる「ひと」「こと」「ところ」を増やす

様々な「ひと」が、数多くの「こと」を、まちのいろいろな「ところ」で行う

### ■「ひと」に関するポイント

まちの魅力をつくる人とまちの魅力を楽しむ人を増やし、つなげていく。

### ■「こと」に関するポイント

様々な人が、まちの魅力となる物事を数多く生み出すことを応援する。

### ■「ところ」に関するポイント

魅力を生み出し、発信する場所を増やし、その場所に行くためのまちづくりを進める。

## 各ポイントに関する第2回・第3回委員会での意見

### ①「ひと」に関するポイント

- ・市内でがんばっている人を紹介すると、横のつながりができていくのではないかと。(第3回)
- ・市外から人を呼ぶ前に、市内に住んでいる人が買い物してもらえないと、市外から人を呼べない。(第3回)

### ②「こと」に関するポイント

- ・平々凡々な感じでちょっとした楽しみを感じるまちでいいのではないかとと思う。普段の生活が楽しめるぐらいがいい。(第3回)

### ③「まち」に関するポイント

- ・このまちで何かをやってみたいというチャレンジを受け入れられる器があるとよい。(第2回)
- ・市民がアクセスする仕組みが必要だと思う。(第3回)

## 小金井市産業振興プランのポイント2

「ひと」「こと」「ところ」を生み出す「仕組み」をつくる

事業者、創業・起業を志す人、市民、来街者のまちに対する前向きな気持ちを捉え、活動につなげ、その継続を支援する。

### ■「仕組み」に関するポイント

- 1) 地域の人たちがつながり、育っていく仕組み【インキュベーション(主体形成)】
- 2) 新たな参画を促し、つながりを広げ、深める仕組み【インキュベーション(参画促進)】
- 3) 活動を目に触れさせ、その魅力に気づく仕組み【情報発信】
- 4) 活動を継続していくための仕組み【商店街等団体支援、事業継続支援】

## 第3回委員会でのまとめ(5つの仕組み)との対応

- ①多様な商品、業種、ニーズをつなげていく仕組み→3)
- ②評判や信用を生むブランディングのための仕組み→3)
- ③まちのネットワークに参加しやすく、住民を巻き込んでいくための仕組み→2)
- ④商店街のような様々なプラットフォーム→4)
- ⑤人を育てていく仕組みや場、その人たちの事業に資金を提供していくための仕組み→1)

## 小金井市産業振興プランの目標（案）

### まちの活気をつくる

まちの特徴となる数多くの魅力を、事業者や市民が作り、「見える化」し、多くの人が楽しむ

### まちの活気を生み出すもの（目標の要素）

ブランドがあること	暮らしていて楽しいこと	人と人との関係が深いこと	まちを盛り上げる人が多いこと	安心して出かけられること
-----------	-------------	--------------	----------------	--------------

#### ■「ひと」に関するポイント

まちの魅力をつくる人とまちの魅力を楽しむ人を増やし、つなげていく。

#### ■「こと」に関するポイント

様々な人が、まちの魅力となる物事を数多く生み出すことを応援する。

#### ■「ところ」に関するポイント

魅力を生み出し、発信する場所を増やし、その場所に行くためのまちづくりを進める。

#### ■「仕組み」に関するポイント

- 1) 地域の人たちがつながり、育っていく仕組み【インキュベーション（主体形成）】
- 2) 新たな参画を促し、つながりを広げ、深める仕組み【インキュベーション（参画促進）】
- 3) 活動を目に触れさせ、その魅力に気づく仕組み【情報発信】
- 4) 活動を継続していくための仕組み【商店街等団体支援、事業継続支援】



## 小金井市産業振興プランにおける取組

施策案	まちの活気					主体
	① ブランドが あること	② 暮らしていて 楽しいこと	③ 人と人との 関係が 深いこと	④ まちを 盛り上げる人 が多いこと	⑤ 安心して 出かけられる こと	
○ 商工会による事業の支援		●		●		
◇ 商店会が行う事業への補助		●				
◇ 地域の人を事業者や活動とつなぐきっかけ		●	●	●		
○ 融資あっせん				●		
○ 事業者に対する経営指導等				●		
◇ 商店街の事務局機能強化		●	●	●	●	
◇ ベンチャーポートとの技術連携	●					
○ 農業の魅力発信	●	●				
○ コミュニティ農園		●	●			
◇ 農地を活用した食育活動		●				
◇ 飲食店での地産地消の促進		●				
◇ 駅近くで農に触れる機会		●				
○ ベンチャーポート入居企業支援	●					
○ KO-TO を核とした創業支援	●			●		
◇ チャレンジの場づくり		●	●	●		
◇ おもしろい人が集う場		●	●	●		
◇ ビジネスコンテスト	●	●	●	●		
○ こがねいコモンズ		●	●	●		
○ 3市魅力向上プロジェクト		●	●	●		
○ 観光案内ツアー		●				
○ 情報受発信事業	●	●				
◇ がんばっている人の発信	●			●		
○ こがねい仕事ネット				●		
○ ハローワークやしごとセンター多摩と連携した雇用施策				●		
◇ 商店街の街路の安全面の整備					●	
◇ 福祉や教育と商店街等の連携		●	●	●		
◇ 市内での回遊性向上		●			●	

◇ 委員会が出た意見 ○ 現在取り組んでいる事業